

平成 29 年 9 月 30 日

各 位

木津の文化財と緑を守る会
会 長 岩 井 照 芳

10 月・11 月の行事予定

拝啓 初秋の候皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度の第一回「鹿背山城何でも知ろう連続講座 講演会」も終わり、引き続き第二回「城整備体験」を開催いたします。

2001 年から城整備を始めた理由は、当時の鹿背山城は昼でもうす暗く、今では考えられませんが道なき道を切り開かなければ前進するのもままならず、凄く荒れていました。この城を「世に出す」には多くの方に見学をして頂くこと以外手はないと考え、城整備が始まったのです。また、最終目標として鹿背山城を「国指定史跡」にすることでした。

中井均滋賀県立大学教授によれば地元の愛護団体が、城整備することは国指定史跡に指定される大きな要素であるとの話を聞き大いに背中を押されました。「国指定史跡」になるのはそんなに遠くではありません。時間の合う方はぜひご参加ください。

市合併 5 周年記念として木津川市が制作した VTR には、江戸時代の木津は宿場町として栄えていたと間違ったナレーションをしています。宿場町とは街道に沿って宿場が建ち並んでいる町の事ですが、木津にはほとんど宿屋がありません（料理屋は多くありました）。

明治維新时期でも大和鎮撫総督府が奈良に赴任の途中木津の海老屋（三丁目）を本陣として久我大納言以下 82 名、川喜に肥後藩・尾張藩合計 164 名が泊まると、興福寺や奈良奉行所の出迎えの役人 20 数名の宿泊所がない状態で正覚寺に頼み込み泊まっています。

このように、宿泊する場所が少ない木津は宿を産業とした宿場町とは言えません。江戸時代の木津の産業は宿場ではなく木津晒さらしという高級麻織物と木津川の運送業（物流）で大いに栄えました。奈良晒は有名ですが木津晒のことはほとんど資料がなく、研究者も全く知らない状態ですので設立 40 周年記念として発行する会誌『泉』第 2 号に木津晒を特集いたします。

木津晒に関して何か知っていること（屋号 判はん置じ [判場で判を押す判場長の家]・もじり屋 [機の部品を制作販売]) また一丁目にあった判場の場所や、晒に関する文書) 等何でもかまいません。少しの情報でも岩井迄ご一報ください。

会計の平瀬です。多くの会員の方には平成 29 年度の年会費（1500 円）をご納入いただき厚くお礼申し上げます。まだ会費未納の方は恐れ入りますが「守る会事業に参加」時、または下記の銀行に「お振り込み」下さるようお願い申し上げます。

振込先： 南都銀行 木津支店 普通預金 口座番号 0218104
木津の文化財と緑を守る会 代表 岩井 照芳

記

10月7日(土) 第256回「鹿背山城 城整備」9:00~12:00
集合場所：鹿背山分校

10月14日(土) 第257回「鹿背山城 城整備」9:00~12:00
集合場所：鹿背山分校

10月15日(日) 第258回「鹿背山城 城整備」9:00~12:00
集合場所：鹿背山分校

10月15日(日) 第5回『鹿背山城プロジェクトチーム会議』
場 所：北別館 1階会議室 時 間：13:30~17:00

10月21日(土) 第259回「鹿背山城 城整備」9:00~12:00
集合場所：鹿背山分校

10月28日(土) 第260回「鹿背山城 城整備」9:00~12:00
集合場所：鹿背山分校

11月4日(土) 第261回「鹿背山城 城整備」9:00~12:00
集合場所：鹿背山分校

11月4日(土) 第153回「多聞院日記を読む集い」
場所 北別館 時間 19:30~21:30 参加費：無料
今回から今年度中は木津晒の資料を読みますので
史料は会でご用意いたします。

11月5日(日) 木津川市文化協会 文化祭
演題 「泉津と平城京」 発表者 岩井 照芳
場所 アスピア山城
時間 13:30~13:50

11月11日(土) 第262回「鹿背山城 城整備」9:00~12:00
集合場所:鹿背山分校

11月12日(日) 第263回「鹿背山城 城整備」9:00~12:00
集合場所:鹿背山分校

11月12日(日) 第6回『鹿背山城プロジェクトチーム会議』
場所:北別館 1階会議室 時間:13:30~17:00

11月19日(日) 第2回『鹿背山城何でも知ろう連続講座』 「城整備 体験」
集合場所 9:00 JR木津駅西側バス停

9:00 JR木津駅~鹿背山城まで徒歩9:40
10:00 城整備~12:00 昼食
13:00 城整備~15:00 下山
15:00 鹿背山会館~15:30 意見交換会 現地解散

定員:20名 申込み:FAX 0774(72)0014(岩井迄) 参加料:無料

11月25日(土) 第88回「ふれあい文化講座」
開場 13:00 開演 13:30~16:30

- ①演題 「浄土の表現について」
講師 矢野 健一郎先生(仏師)
- ②演題 「宝飾鏡」—正倉院鏡や唐鏡の調査などから—
講師 成瀬 正和先生(東北芸術工科大学客員教授)

場所:いづみホール 参加料:無料 定員:180名(当日参加順)